

わたしたちの生活と税金

新庄市立本合海小学校教諭 5, 6学年 土田 充
 実施年月日：令和5年9月7日 9名

1 実践計画・指導のねらい

子どもたちは、日常生活の中で消費税を見聞きしていることで「税金」という言葉は知っているようである。また、税金が自分たちの生活と関係があることも漠然とではあるが、知っているようである。しかし、税金が具体的に自分たちの生活の中に還元され生活を支えているか、また、将来どのように自分たちの生活に関わってくるかということに関しては、まだ、理解が足りないと感じる。そこで、税金について知っていることをもとに、税金の仕組みと自分たちの生活、さらに自分たちの将来について、考えられるようにしていく。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・税金について知っていることを出し合い、税金について関心を持つ。	○ 税金について、どんなことを知っていますか。 ● 消費税（税金の種類）を払っている。 ● 生活の役に立っている。 ● 税金で、自分たちの教科書が無料になっている。 □使用教材 教科書「わたしたちのくらしと税金」
2	・税金の仕組みについて調べる。	○ 税金について、どんなこと調べますか。 ● 税金を使って、どんなものがつくられているか。 ● 税金は、どんなことに使われているか。 ● 生活とどのように役立っているか。 □使用教材 ・教科書 ・タブレット (NHK for school など、税金に関するサイトを視聴する)
3	・税金について調べたことを交流する。	○ 友達の調べたことを聞いて、どんなことが分かりましたか。 ● いろいろな税金の種類があることが分かった。 ● 大きい建物や道路がつくられるときに税金が使われている。 ● 病院に行ってもお金がかからないわけが分かった。
4	・税金についてまとめる。 (外部講師を招いて、授業をしていただく。)	○ 税の学習をしてどんなことが分かりましたか。 ● 税金がないと生活が大変になる。 ● 税金はわたしたちに生活に必要な。 ● 税金の大切さが分かった。 □使用教材名 (外部講師による持ち込み) ・パワーポイント ・一億円のレプリカ ・税のビデオ「マリンとヤマト」

【指導のポイント】<1時間目>

・税金について知っていることを出し合い、興味や関心を持たせる。知っていることと知りたいことを確認することができ、今後の学習に見通しを持たせることができた。

【指導のポイント】<2、3時間目>

・税金について調べ、調べたことを交流させる。自分が興味や関心を持ったことについて調べ、調べたことを交流させることで、新たに知識を得たり広げたりできた。

【指導のポイント】<3時間目>

外部講師による授業を行った。学校では準備できない教材を使ったり専門的な知識を分かりやすく説明していただいたりしたことで、より具体的に理解することができた。

※外部講師（新庄税務署の方）を招いた授業より



3 実践の成果 (◎)と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 税金の具体的な使われ方を理解したことで、税金の大切さを感じさせることができた。
- ◎ 自分たちが、安心して安全に生活できる理由を理解させることができた。ほとんどの子どもが、今まで以上に興味を持つことができたようであり、公共施設などの使い方についても考えるようになった。
- ◆ 税金の大切さや使い方は、理解できたようであったが、今の税金の使い方について考えさせる時間も必要であった。
- ◆ 近い将来、今まで以上に税金を納めることになるので、これからの税金の使い方について、「自分だったらこんな使い方をしてほしい。」など子どもなりの政策を考えさせ、話し合いをさせるような授業も取り入れたい。
- ◆ 子どもたちも興味を持ち始めたので、授業以外でも「税」や「税金」について機会をとらえて、話題にしていきたい。